

令和6年度（第73回）事業計画

第1. 事業運営方針

会員企業や健康保険組合等に所属する労働者およびそのご家族や、地域住民の健康を守るという理念のもと、次の事業運営方針とします。

1. 感謝の気持ちを忘れることなく、医療精度の維持・向上を図り、顧客のニーズに対応した健康管理・安全管理等の予防事業を強化します。
2. 健康経営・SDGsに取り組み、生産性の向上、職員の創造力の醸成や法人イメージの向上を目指します。
3. お客様に選ばれる法人、働きがいのある法人を目指し事業の最適化を考えます。
4. 当期収入を118億円、当期利益を3.4億円確保します。

第2. 令和6年度予算計画

令和6年1月より再編した事業部制やサポート部門の新設により、事業の最適化を図ります。収入面では、巡回健診の新規事業場獲得、施設健診事業の検査枠の拡大や効率化による受診者の増加など、それぞれの事業で伸びを見込んでいます。

以上の要因から、事業収入は118億7,000万円（前年比103.3%）で計画しました。

支出面では、事業拡大による人員増加や医療業界における人員獲得競争の激化による採用経費や賃金アップによる労務費の増加、郵送料金などの値上げや、設備更新に伴う費用が発生する他、受診者サービス向上のためのシステム開発、検診車の整備などへの投資を行います。

以上の要因から、事業費用は115億6,300万円（前年比103.0%）で計画しました。

この結果、令和6年度の当期利益は3億4,960万円（前年比126.9%）を見込みます。

第3. 重点課題

令和6年度 事業部別事業計画

1. 診療部（医療事業）

- ① 受診者の満足度に配慮した受診者中心の医療サービスを提供します。
- ② 精密検査の受診率向上を目指します。

2. 巡回健診事業部

- ① 顧客の労働衛生施策を推進し『がん検診受診率』の向上に取り組みます。
- ② 業務改革を断行し、業務の標準化および効率化を推し進めます。
- ③ 収益改善に取り組みます。

3. 施設健診事業部

- ① 質の高い保健サービスを提供し、顧客のQOL向上に寄与します。
- ② 事業の拡大、経費の削減により収益向上を図ります。
- ③ 6拠点の利便性を生かした受診案内および新規渉外活動を行います。
- ④ 業務効率化と有効な人材活用を推進します。

4. 環境保健部（検査・指導事業）

- ① 渉外活動を展開して、新規事業場を獲得します。
- ② 高い専門性を身に付け、顧客からの要望に迅速かつ誠実に対応します。

5. 産業保健推進事業部（検査・指導事業）

- ① 質の高い産業保健サービスを提供し、会員事業場の健康維持・増進に貢献します。
- ② 第四期特定保健指導に対応し、成果を追求します。
- ③ ICTを活用し、事業場の所在地、規模、労働形態に関係なく、すべての人々と組織のウェルビーイングに資するサービスを確立し、提供します。

第4. 健康経営の取り組み

当会の理念を実現し、継続的に成長することを目的とし、職員の健康を経営課題ととらえ、具体的な健康課題に取り組み、職員の健康の保持・増進、労働生産性の向上、組織の活性化に繋がります。

【3つの目標指数】

- プレゼンティーズムの低減 (WFun)
 - 問題なし (13点以下) の職員の割合 : 55%以上
 - 高度障害 (28点以上) の割合 : 5%以下
 - 事業所診断 : A判定
- アブセンティーズムの割合 : 7%以下
- ワークエンゲージメント : 2.5点以下

(1) 重大疾病の早期発見・予防

- ① がん検診受診率向上への取り組み
- ② 産業保健スタッフによる健康診断後の精密検査受診状況の把握およびハイリスク者への受診勧奨
- ③ 特定保健指導の実施率向上への取り組み
- ④ 残業過多者への健康状態の確認

(2) ヘルスリテラシーの向上

女性特有の健康課題等、健康関連をテーマとしたeラーニングの定期的な実施

(3) 健康保持・増進施策

- ① 運動習慣定着に向けた取り組み (ウォーキングキャンペーンの実施)
- ② 禁煙への取り組み (「禁煙マラソン」の実施)
- ③ 健康課題への取り組み
(食事環境の整備、高年齢労働者に配慮した職場環境の改善等)
- ④ 治療と仕事の両立支援への取り組み
- ⑤ 部活動への援助

(4) メンタルヘルス対策

- ① ストレスチェック実施率の向上
- ② 管理職に対するラインケア研修の実施
- ③ 職員に対するセルフケア研修の実施
- ④ 全部門職場改善施策の立案と実施
- ⑤ 産業保健スタッフによるフォローと相談窓口の設置

(5) 感染症対策

- ① 各種感染症への適切な対策の実施
- ② 各種ワクチンへの補助 (MR・B型肝炎・带状疱疹・インフルエンザ)

第5. SDGs の取り組み

「持続可能な開発目標（SDGs）」と当会の設立当初からの理念をつなげ、健康診断、診療、産業保健、環境測定および公益活動の5つ全ての分野で具体的なアクションに取り組むことで、持続可能でより良い社会の実現に貢献します。

- (1) 疾病の予防、治療の実践および普及活動を通して、人類の福祉に貢献
 - ① がん対策推進企業アクション（厚生労働省）の推進
 - ② 経済的な理由によって必要な医療を受ける機会が制限されることのないよう無料低額診療事業を実施
 - ③ HIV感染症根絶のための検査の支援
 - ④ メンタルヘルス事業を推進し、労働者の精神保健および福祉を促進
 - ⑤ 環境計量証明事業・作業環境測定事業を通じて、職場環境保全に貢献
 - ⑥ 化学物質管理についての適切な助言を行い、有害化学物質による死亡および疾病を減少
 - ⑦ 受診者数に応じポリオワクチン接種相当額をユニセフに寄付
 - ⑧ ユニセフ・マンスリーサポートプログラム（定額寄付）への参加

- (2) クリーンエネルギーを活用し、環境に配慮した事業運営
 - ① 検診車に蓄電池を搭載し、健診中のCO₂排出を抑制
 - ② 業務車両を順次、ハイブリッド車等へ移行
 - ③ 業務用自転車の利用促進
 - ④ ゴミ分別・リサイクル推進とそれに伴う職員の環境意識向上
 - ⑤ デジタル化推進による紙使用量削減（問診票・健診結果報告・請求書）
 - ⑥ 会報誌「創健」における間伐材の有効活用（森の町内会活動への参加）
 - ⑦ 環境負荷の低い消耗品の選択（バナナペーパー名刺の採用）

- (3) 医療教育の実施と自律型人材の育成
 - ① 学生実習を受け入れ、医療教育を実施
 - ② 地域の医療系団体と協力し、職員および医療系学生に医療教育を実施
 - ③ 職員へSDGsについての教育を実施（アイディアコンテストの開催）